



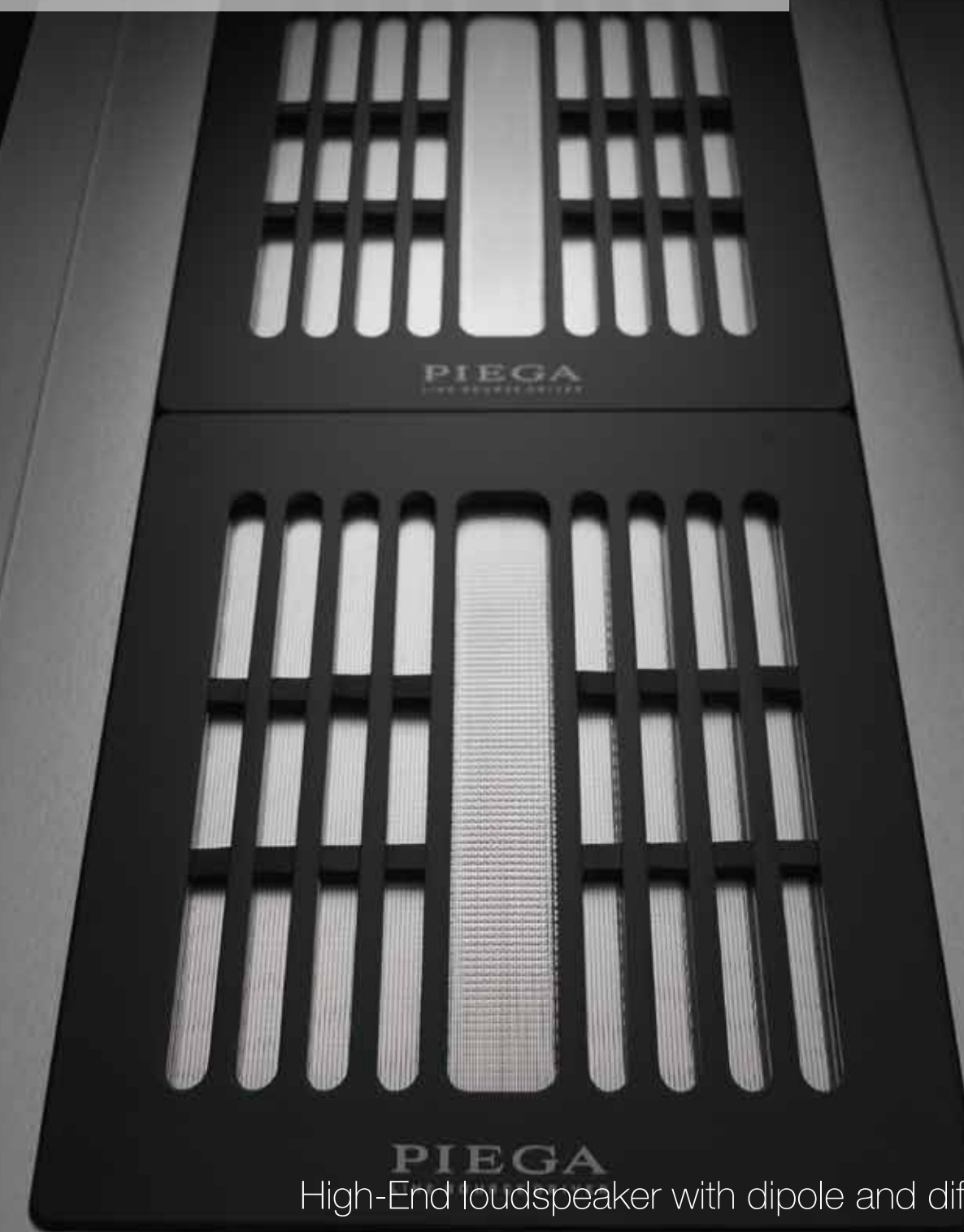
Technical Data

| | |
|------------|--|
| Model | Master Line Source 2 |
| 構成 | ダイポール3ウェイシステム アコースティックレンズ搭載 |
| 推奨アンプ出力 | 20-500W |
| 能率 | 92dB/W/m |
| インピーダンス | 4Ω |
| 再生周波数特性 | 20Hz-50kHz |
| ユニット | ラインソース・ドライバー211×4 220mm UHQD*低域用ウーファー×2 220mm UHQD*バッシヴ振動膜×2 *Ultra High Quality Driver |
| クロスオーバー周波数 | 400Hz/3kHz |
| 入力端子 | PIEGAオリジナルターミナル バイワイヤリング可 |
| サイズ | H1760×W320×D430mm(平型脚含む) |
| 重量 | 93kg/本 |
| 仕上げ | シルバー バッフル:アルミ シルバーアルマイト加工 筐体:MDFシルバー塗装 |
| | ブラック バッフル:アルミ ブラックアルマイト加工 筐体:MDFハイグロスブラック塗装 |
| | ホワイト バッフル:アルミ ホワイト塗装 筐体:MDFハイグロスホワイト塗装 |
| | ゼブラウッド バッフル:アルミ ブラックアルマイト加工 筐体:MDFゼブラノ突板マット仕上げ |
| 本体価格 | ¥10,000,000/ペア(税別) |
| オプション | ボトムプレート:¥200,000/ペア(税別) サイズ:H160×W350×D350mm/9kg 仕上げ:アルミ シルバー、ブラックアルマイト加工 |



PIEGA
SWITZERLAND

PIEGA Master Line Source 2



PIEGA
High-End loudspeaker with dipole and diffuser.

PIEGA
SWITZERLAND

輸入総代理店フューレンコーディネート Toll Free 0120-004884 www.piega.jp

本カタログに掲載の情報は2018年12月現在のものです。



PIEGA Master Line Source 2

スイスのオーディオスペシャリストであるPIEGAが夢のスピーカー〈Master Line Source〉を2013年の秋に公開した時、業界通は息をのむ瞬間を体験しました：大人が立ち上がったサイズの4筐体からなる音響トランスデューサーが再生する音楽の色調の精妙さを目の当たりにして、国際的なHi-Fi業界誌の専門家達はまれにしか表出しないような感情をあらわにして、このスピーカーを褒め称えたのです。例えばドイツの新聞「Frankfurter Allgemeine Zeitung」はこう書いています：「この機器はエンジニアが提供するスピーカーの中でも一番良い。」さらにSwiss AV-Guideは驚嘆しています：「オーディオジャーナリストとしての私の生涯で、これより優れたものを聴いたことはあるでしょうか。」また、シンガポールのオンライン誌hifisenses.comもこう断言しています：「PIEGA 〈Master Line Source〉は必聴のスピーカーとしてオーディオフィルに推奨するトップモデルの1つです。」

しかしこの素晴らしいスピーカーのオリジネーターでPIEGAの開発責任者であるKurt Scheuch(クルト・シヨヒ)は、すぐさま再び作業場に引きこもり、標準的なリビングルームにも溶け込める小型バージョンの試行錯誤に明け暮れました。そして、デザイナーStephan Hürlemann(ステファン・ヒューレマン)との緊密な協力関係の結果、〈Master Line Source 2〉が誕生したのです。

シンメトリカルなラインソース

大作である〈MLS〉同様、〈MLS 2〉もシンメトリカルなラインソース原理で動作します。これには縦一列に実装された4つのミッドレンジとトゥイーターがミッドレンジの背部に施されたアコースティックレンズの恩恵とともに従来のスピーカーよりも縦方向の円筒形状にサウンドを放射。そのため再生された音楽は無用な反響を伴わずに直接リスナーへと到達し、ことのほかクリアでディテールに富んだサウンドパターンを作り出します。しかも、複数ドライバーを介した中高域周波数信号の再生と大きな表面膜(トゥイーター膜は全体的にドームトゥイーターよりも約50倍のサイズです!)は極めて低歪みかつ、高効率で雄大なダイナミズムと、格段に自然できめ細かい再生を確約し、更なる優位性をお届けします。

ラインソース・ドライバー、と呼ばれる〈MLS 2〉の新たなリボンシステムには3kHzを超えるすべての周波数に対応するよう中央にリボントゥイーターが配置されています。500Hzまですべてのサウンドの放射を担うミッドレンジリボンはその左右の側面に位置し、言い換えれば多くの楽器とヴォーカルが再生するほとんどの周波数帯域を再現します。PIEGAのCoaxシリーズからの馴染みある〈C1〉の中域トゥイーターのサイズは受け継いだものの、それ以外のエッチング技術を適用したフィルム素材とリボンダンピング、磁石システム、バスケット、フィルムレイアウトは一から開発したものです。

ラインソース後方の音響レンズ

4つのラインソース・ドライバーが直接前方へ放射されると同時に、ダイポール特性と調和する後方に放射されるサウンドエネルギーは精巧に設計された音響レンズを経由して完全に拡散音場に変換されます。塗装を施したMDF(中質繊維板)板で構成される音響レンズの回折と反射効果により背面にもサウンドが広大に放射され、〈MLS 2〉は従来のダイポール特性のスピーカーではできなかった、後方壁への近接設置が可能です。

ドライバーの高品質で低歪みの音質を徹底的に発揮するため、ハウジング内の振動を確実に消し去るよう細心の注意が払われました。スピーカーのバツフル面はソリッドアルミニウムの塊から切削され、堂々たる安定性とダンピング特性を備えています。10mm厚アルミニウムのバツフル面は本体エンクロージャに接着されています。



本体はMDFと粘弾性の頑丈なフィルムIdikellで構成されたもので、極めてソリッドな剛構造を持つ完璧なエンクロージャです。64Lのエンクロージャに搭載される2基のPIEGAウーファーは新設計の直径220mmサイズのもので、極めて高剛性にコーティングされたアルミニウム振動板と、ロングスロー磁石システムにより20Hzの低カットオフ周波数と最適なパルス応答を達成します。アンプによって駆動される2基のウーファーに加え背面には同じ振動板のバツフルブラジエーターが2基マウントされ、バスレフシステムより効果的に低域レスポンスを補強し、〈MLS2〉のトータルパフォーマンスを高めています。

4種類のキャビネット仕上げのPIEGA 〈Master Line Source 2〉は、プレミアムなハイエンドスピーカー分野におけるスイスのエンジニアリング、クラフツマンシップ、オーディオ技術の縮図そのものとして高い完成度と抜群の音質を誇ります。

